

令和元年度総合管理研修会

2月1日(土)の午前中に令和元年度総合管理研修会が開催され、74名の参加がありました。今回も多く参加があり、総合管理という部門において会員の皆様の関心が高くなっているように感じました。研修内容として、まずは奈良谷理事より「都道府県災害対策研修会の伝達講習」に始まり、次いで、長崎医療センターの木佐木技師により、「災害拠点病院における災害への備え(病院として・検査室として)」と題して講演がありました。国として災害対策に力を入れていくようになった経緯や沿革、拠点病院としての自施設での取り組みについて詳細に話して頂きました。



最後に、日臨技災害対策委員会委員長である森谷裕司先生より「発災時の臨床検査技師の役割(受援と支援)」と題して講演が行われました。発災時に我々検査技師は何をすべきなのか、何ができるのか、また、その心構えなどについて、DMATとして実際の現場を経験された先生から実例を交えてわかりやすく講演頂きました。情報収集とニーズを把握することが大事だと思いました。



参加者の皆さんも真剣に話をきいておられ、災害対策や災害医療への関心の高さがうかがえる研修会でした。参加された皆様お疲れ様でした。